



共同声明

Emanuele Riva (IAF議長)、Etty Feller (ILAC議長)



世界認定推進の日 2022

認定：サステナブルな経済成長と環境をめざして

認定に係る国際的組織 IAF と ILAC では、
毎年6月9日を世界認定推進の日と定め、この日を記念し、共同でテーマを設定しています。

2022年のテーマは、「認定：サステナブルな経済成長と環境をめざして」であり、
認定と適合性評価が地球規模の課題に対し、いかにして国際的な解決策を提供できるか、
という観点で耳目を集めることを目指しています。



国連の持続可能な開発目標(SDGs)は、世界が現在そして未来を見据え、焦点を当てるべき明確な目標を設定しています。SDGsの最も重要な2つの要素である経済成長と環境パフォーマンス(のバランスを取りながら)、この2つの目標を持続可能な形で、同時に実現したいという共通の強い思いによって結び付いています。

IAFとILACによる協力関係は、一見異なっているように思える焦点が合わさり、積極的な活動が成し遂げられることを示しています。

2つの認定に係る国際的組織、IAFとILACでは、企業、政府、消費者、その他のグループが、より充実した経済および環境パフォーマンスの提供手段として認定を利活用できるよう長年にわたり支援してきました。この2つの目標が持続的に達成されるよう絶えず焦点が当てられてきました。しかし、特にCOP26を通じて(気候変動への)意識の高まりにより、認定が提供する広範の解決策は、全ての組織にとってより多くの成果を上げるのに役立っています。

環境保護の成果、気候変動のリスク管理支援、循環型経済の発展、実績パフォーマンス評価のための手段提供などを通して、認定と適合性評価は、今後もSDGsを支援する最適なツールが利用できることを保証するために、絶えず見直し、進化しています。

環境規制をサポートしていた一部の初期の試験所認定活動から、近年行っている、ISO 14001の認証機関の認定、環境パフォーマンスに焦点を当てたセクター固有の基準、および妥当性確認と検証のための基準の導入まで、IAFとILACは、組織が持続可能な経済成長と環境パフォーマンスの測定、管理あるいは報告を行うために役立つよう、努めています。

環境、社会、ガバナンス(ESG)基準は、組織への影響を測定し、適切な投資決定の基礎となるため、一般的な使用がますます高まっており、認定団体は、関連する認定および適合性評価ソリューションを提供するために、さまざまなニーズと優先順位を持つ多くの組織と引き続き関わっていきます。「地球に替わる惑星はない、地球はかけがえのない星だ」というフレーズは、経済成長と環境の持続可能な両立に向け、これまで以上に差し迫った必要性を浮き彫りにしているのです。

世界認定推進の日 2022の存在が、国際認定フォーラム(IAF)(www.iaf.nu)、国際試験所認定協力機構(ILAC)(www.ilac.org)およびその会員が、持続可能な経済発展と持続可能な環境(保全)を、認定がどのように提供しているのかを強く訴えることができるのです。

IAFとILACは、持続可能な経済成長と環境(保全)において、認定が担う役割を明確化するために、認定利用の実例を始めとした広範な情報を提供します。

■ Economic development – Public Sector Assurance

■ Environmental Protection – Public Sector Assurance

